

京都市

街路樹サポーター通信

第7号(2013年冬)

～街路樹サポーターの皆様へ～

日ごろより、本市の街路樹行政に御協力いただき、誠にありがとうございます。街路樹は春に向けて休んでいる状態で、新緑の芽吹きがまちどおしいです。京都市においては近年「二段階剪定」の取組を進めておりますが、隔年で行っている「二段階剪定」が2順目に入り、市民の皆様にも更なる御理解と御協力をいただくことができます。

街路樹サポーターの皆様には、毎年落ち葉清掃など御苦勞をおかけしますが、引き続き御協力の程よろしくお願いいたします。



～街路樹に関する事業～

花の道づくり

樹勢の衰えてきている樹木が多い路線において、花を楽しめる樹木に変更していく事業です。平成25年度は、二条通、新城南宮道、大手筋、竹田街道、津知橋通他において、ハナミズキやサルスベリ等花を楽しめる樹木を植栽する工事を行っています。

道路の森づくり

既存の中央分離帯に高木を植栽する事業です。

平成25年度は、久世橋通、葛野大路通、御池通の中央分離帯に、新たに高木を植栽する工事を行っています。



新城南宮道

烏丸通・緑の道路環境整備事業（道路の森づくり・ユリノキ並木再生）

烏丸通の既存の中央分離帯に高木を植栽する道路の森づくり、歩道のスズカケノキをユリノキに変更するユリノキ並木再生の工事を行っており、平成25年度末に事業が完了します。

～サポーターの紹介～

今回は、上京区の「**府庁前ケヤキ会**」様を紹介させていただきます。同会では、釜座通（東裏辻町西側）の8本ケヤキを対象に、9名の会員の方々に、落ち葉清掃を中心に活動していただいています。

秋には、大量の落ち葉清掃に御協力をいただいています。



釜座通のケヤキ並木



モミジバフウの葉

～シリーズ 街路樹紹介（第7回）～

このコーナーでは、主な街路樹の特徴などを紹介していきます。

今回は、秋の紅葉も美しく、「二段階剪定」の対象にもなっている「**モミジバフウ**」を紹介します。

モミジバフウは京都市の高木約5万本のうち、約1,000本（約2%）が植栽されています。

モミジバフウは成長が早く、幹が直立しており、枝を四方に広げ整然とした樹形をつくり、美事な紅葉景観を見せてくれます。

【特徴など】

- ・ マンサク科の落葉高木であり、深い掌状の葉は、秋には深紅色に紅葉します。
- ・ 北アメリカ原産で、樹皮は厚いコルク層が発達します。

【京都市内では】

- ・ 桂坂周回道路
- ・ 紫明通
- ・ 押小路通（堀川通～千本通）
- ・ 冷泉通（疏水浜通～岡崎通）

etc.



モミジバフウの紅葉状況（写真は桂坂周回道路）

～^{みやこ}京の近代街路樹100周年記念事業～

標記につきましては、報告が遅くなり申し訳ありません。京都市の近代街路樹として、明治45年に烏丸通（京都駅～丸太町通間）に「ユリノキ」が植栽されてから100年が経過し、街路樹の歴史や現状及び今後の姿について、現状報告、基調講演、パネルディスカッション等を平成24年12月に実施しました。つきましては、京都市造園建設業協会様の御協力により発行しました冊子「街路樹文化の創造に向けて」、リーフレット「京都市の街路樹」を送付させていただきますので、ご高覧下さい。

～サポーターの現況～

平成26年2月末現在で、76団体、1,323名の方々に街路樹サポーターとして登録していただき、落ち葉清掃や除草などの美化活動等に御協力いただいております。年々その輪は広がっています。※本市では、街路樹サポーターの皆様へホウキやクマデ等の清掃用具を提供しております。（お気軽にお申し出ください。）

